



実証
検証

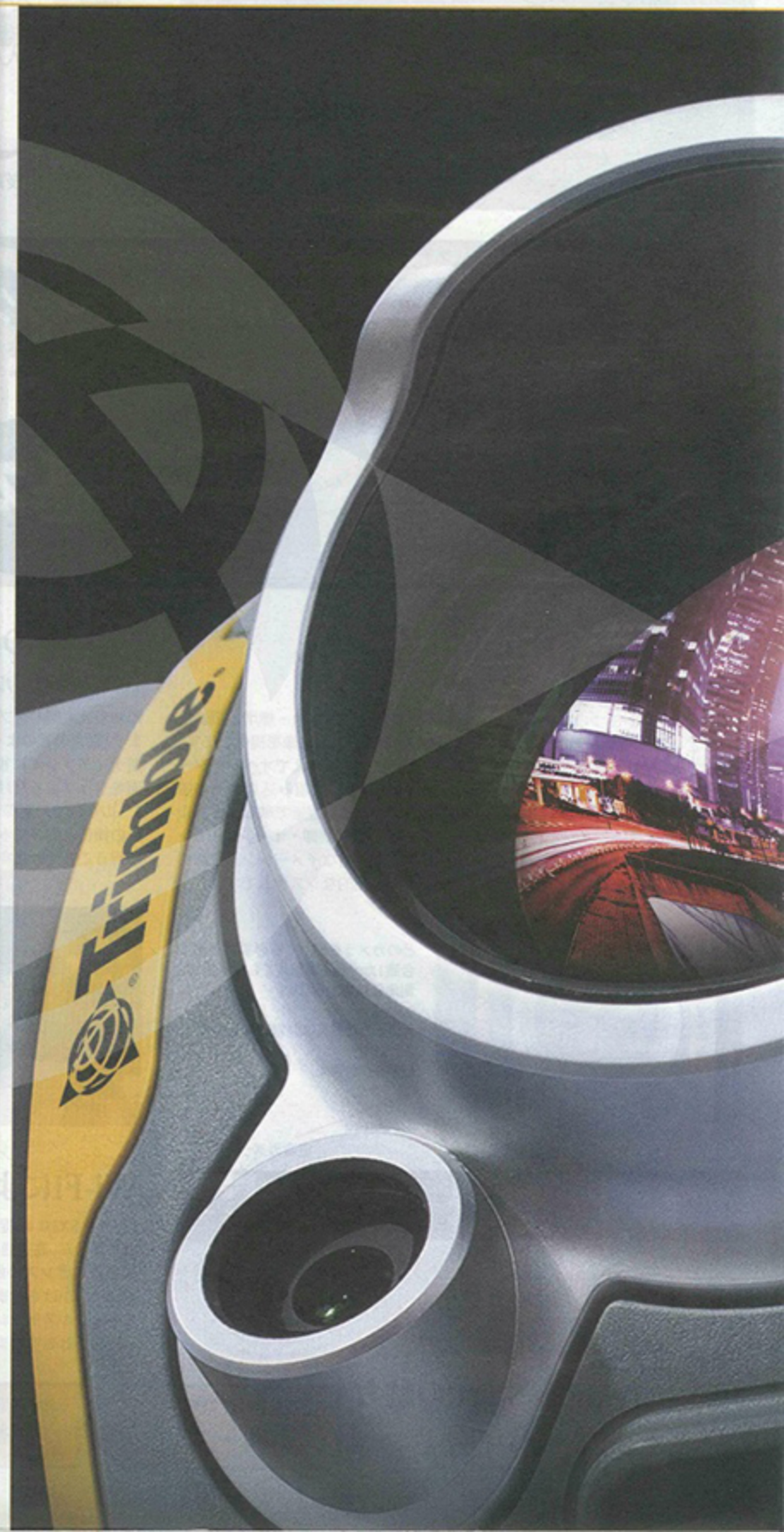
WHAT'S NEW

2017

VOL.15 2017

4

トリブル・エス・エックス・テン	高精度測量サーベイマシン	
Trimble SK10		P.01
スカイ・マッパー	写真測量・三次元計測用 UAV	
SKY-Mapper		P.05
トリブル・ビジネス・センター	i-Construction 完全対応ソフトウェア	
TBC (出来形版)		P.09
アイ・コンストラクション	二重トリブルの対応まとめ	
i-Construction		P.11
テクノロジー・アンド・モア	Trimble (米国) 制作広報誌	
Technology & More		P.12
トリブル・ティー・エックス・エイト	高性能 3D レーザースキャナ	
Trimble TX8		P.13
トリブル・リアル・ワークス	三次元設計ソフトウェア	
Trimble RealWorks		P.15
ユーザーインタビュー・ネクスト	西澤工業株式会社 様	
User Interview Next		P.16
ガイドーゼロ	「高性能測」測測測測」対応!	
GUIDER ZERO		P.17
トワイストライエディター	国土院測量「三次元点群データを使用した 測量図作成マニュアル」への対応	
TOWISE TRIEDITOR		P.19
トリブル・スカイ・コントローラー	アップデート内容を動画で紹介	
Trimble SKY Controller		P.21
ユーザーインタビュー・ネクスト	コムワークスエンジニアリング株式会社 様	
User Interview Next		P.22
トリブル・エス・ファイブ・ブルートゥース	特許取得 Bluetooth の従モデル	
Trimble S5 Bluetooth		P.23
ユーザーインタビュー・ネクスト	株式会社 数工務店 様	
User Interview Next		P.24
地籍調査作業手順	GNSS 測量のメリットを最大限に活用!	
地籍調査準則運用基準の改正		P.25
ジオイスト	地籍調査事務支援システム	
GEOIST		P.26
ランドキューブ	i-Construction 測量設計ソフトウェア	
LANDCube LandXML 1.2 対応		P.27
空中から水底までシームレスな 3D 測量を実現	Trimble MX2 & Seaview	
水陸一体 3D 測量システム		P.28
HOT NEWS 2017		P.29



登録商標または商標です。
© 2017
Trimble

Trimble TX8 & RealWorks

『オンリーワン企業』を目指すために、 欠かせなかったTrimble TX8



新技術導入の重要性について語る
寺尾代表取締役

寺尾社長：「人がやっていないことをやる」というのは私の理念であり、技術者である社員達も「やりたい」「やってみたい」と向上心とやる気に溢れています。そのため、新技術の導入については全く抵抗はありませんでした。普段より社員ともコミュニケーションを取っていますので、この理念は社内全体にも行きわたっていると思います。

藤本課長：3Dレーザースキャナによる3次元測量の良さと3次元測量の状況や出来上がりを確認できることであると考えており、iコンストラクションを実施する上でなくてはならない物

編集部より：2012年11月の1号機導入を皮切りに、4年4か月というわずかな期間で14台もの重機がiダラスシステム・コントロールドシステムへ積極的に先行投資をしてきた政工務店様は、「新技術への投資は常に考えている」とお話しされていました。技術者である社員の皆様もこの重要性を良く理解していると感じました。取材にお伺いした当時、トリムブルTX8はまだ納品待ちで「器械の到着が待ち遠しい」という雰囲気を取材スタッフにも伝わって来ました。

寺尾社長：「人がやっていないことをやる」というのは私の理念であり、技術者である社員達も「やりたい」「やってみたい」と向上心とやる気に溢れています。そのため、新技術の導入については全く抵抗はありませんでした。普段より社員ともコミュニケーションを取っていますので、この理念は社内全体にも行きわたっていると思います。

藤本課長：3次元測量を強みとしていたからこそ「TX8」を選択。改めてTX8とリアルワークスを最初にご覧になった所感を教えてください。

寺尾社長：社長としては、トリムブルTX8を有効活用し「社長も一台、トリムブルTX8が必要ですね」と言う社員からの要望を期待しています。急速に拡大しているiコンストラクションの現場での測量と成果作成については、さらに技術的なノウハウと経験を蓄積し、今後の業務受注とお客様への分かりやすい高品質なサービスを提供して行きたいと思っています。

寺尾社長：株式会社政工務店は施工が中心の会社でした。そのため、以前は測量業務に関しては外注で実施をしていましたが、情報化施工とiコンストラクションの本格化に伴い、お客様である発注者の様々なニーズに即座に、そして柔軟に対応するためには測量業務の請負も必須であると考えました。そこで「社で測量・設計・積算・施工まで一手に引き受けることができるオンリーワンの会社」を目指しました。工事すべてを一括で行えることで、品質面だけでなく価格面においてもより良いサービスを提供することが出来ます。さらに、「政工務店に頼めば、全部できる」という他社にはない信頼性は、最終的には我々の会社の安定にも繋がっていきと考えてました。

寺尾社長：測量会社もそうかもしれませんが、施工会社の中で3Dレーザースキャナを導入して業務を行っている会社はまだ少ないと思います。我々は「人がやっていないことをやる」という理念もあり、なにより「これは出来るけど、あれは出来ません」というのは本当のサービスではないかと思っております。その意味でも3Dレーザースキャナの導入は必然でした。

藤本課長：ダンブや重機を通す際のクリアランス、作業用道路幅の測量、3次元点群からこれらを瞬時に計測できる機能を使うことで、より迅速に情報提供することが期待できます。現場で取得した高密度な3D点群データを利用することにより、現場を机上へと持ってくることも出来ます。当然計測・観測も机上ですぐにできるため、非常に効率的です。そのたびに現場に測りに行ってはたまりませんからね。このような簡単な計測から起測量、進捗管理、出来形計測、これからは、iコンストラクションや一般の測量、道路計測でも、トリムブルTX8をメインで利用し、UAVは補充的に使って行きたいと思っております。まだトリムブルTX8は納品されていませんが、到着がとて楽しみます。

株式会社政工務店様は、早い時期から情報化施工、またiコンストラクションに対応するために、設備や人材に積極的な投資をされている会社です。そのような社風の下、積算・設計・実際の施工だけでなく、一社で測量から評価までを一貫して請け負うことが出来る体制づくりを目指し、トリムブルの3Dレーザースキャナ「TX8」と後処理ソフトウェア「リアルワークス」の導入を決定されました。今回はその経緯と、なぜ数ある3Dレーザースキャナの中からTX8を選択されたのかを突撃インタビューしました。

寺尾社長：3DレーザースキャナトリムブルTX8の導入決定までの経緯について教えてください。

藤本課長：ソフトウエアのトリムブルリアルワークスもその日の内に点群成果をまとめてしまえるスピード。加えて、レジストレーション（合成）方法のバリエーションの多さ、また何と言っても、座標変換時には基準点のみならず構造物の角や印象点で精度良く行える機能の高さには関心しました。この構造物の角で座標変換を行えるのもTX8の点密度の高さゆえの機能かと思いますが、トリムブルリアルワークスは色々見てきたソフトウエアの中でも直観的に使いやすく、群を抜いて優秀だと思えます。ハードウエア・ソフトウエアともに悪いところはほとんど見当たりませんでした。



i-Construction現場でTX8の性能を見定めるICT事業部課長 藤本様

